

令和4年度事業報告書		事業所名	養護老人ホーム倉敷市琴浦園	作成者	長沼正幸	作成日	R5.3.31	
目標	本年テーマ	(計画)入所者一人一人の思いを理解する(気持ちに寄り添い、どのような生活がしたいか、どうしたいか)						
		(評価)入所者を含めたサービス担当者会議を実施し、思いを共感することが出来た。						
基本処遇及び運営	■令和4年度処遇及び運営方針に対する評価							
	(計画)①本人を含めた担当者会議を半年ごとに開催し、要望や園での生活等職員全体で共有し、支援する							
	②施設での生活が継続できる体力づくり(身体機能の維持向上のための個別機能訓練)							
	③入所者と一体となった施設運営(生きがいや日課、役割をもってもらう)							
	数値目標:月平均稼働率93.7%(ショート利用含む)							
	(評価)							
	①については入所者の思いを傾聴することが出来、職員全体で共有することができた。外出や外食の要望については外出規制もあって思うように実施することが出来なかったため、来年度は計画を実行できるようにしたい。							
	②については入所者ごとに担当をつけ、個別に機能訓練を行うことが出来、機能維持が図れたと思います。今後は、計画から評価、見直しまで行い、入所者の動機付けに役立てたい。							
	③については、琴浦園独自のポイント制度を活用し、ゴミ集め、草刈り、手すり拭き、館内清掃を行っていただいた。年に2回ほど入所者全体に声を掛け、館内の一斉清掃(窓ふきや廊下)を行い、一体感が達成できた。							
	数値目標:月平均稼働率90%(ショート利用含む)							
研修・セミナー	■職員研修計画と実績							
	研修名称		参加実績		研修名称		参加実績	
	認知症介護実践者研修		体調不良にて不参加					
	福祉人材採用・定着戦略セミナー		1名参加(岡田)					
	リスクマネジメント研修【総合コース】		1名参加(森本)					
外部研修については、認知症介護実践者研修に行かせたい職員が体調不良にて、不参加となってしまったが、他の研修についてはオンラインもあったが、学んでいただき、本人にとってもスキルアップになったと思います。								
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果							
	会議委員会名		実績・効果		会議委員会名		実績・効果	
	全体会議		施設の運営、各課の問題点等を話し合い、必要不可欠であった。		処遇・苦情委員会		苦情要望の確認、業務改善の話し合いを行い、有効に活用できた	
	部門会議		毎月実施予定であったが、必要に応じて実施。					
	担当者会議		各入所者に対し、1年に2回実施。初めての試みだったが、処遇に反映					
	給食会議		委託業者も変更になったが、会議を通じ、安心・満足な食事提供できた					
	機能訓練委員会		担当制で実施も、PDCAの不明確で思い通りの成果が得られなかった					
	ポイント制度委員会		しっかりと活用し、入所者に施設貢献して頂きました					
	事故予防委員会		その月の事故やヒヤリの検証。1年通じて大きな事故がなかった					
	衛生(身体拘束・感染症・褥瘡)委員会		新型コロナウイルスを中心に施設内での対応、勉強会の実施が出来た					
■災害訓練計画・実績								

防災・災害	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	7・11月	7・11月	火災避難訓練	2回とも計画とおり実施できた。避難指示や誘導の必要な方への声掛けが不足していると感じました。入所者にも誘導、声掛けを手伝っていただいた。
	9・3月	9・3月	高潮・土砂災害避難訓練	高潮・土砂災害とも避難場所が施設2階のコーナーの為、2階への誘導を行った。地震による高潮を想定し、エレベーターが使用可で実施した。入所者にも災害時の避難場所としての認識が深められた

行事・イベント	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)			
	月度			
	4月	花見会		
	5月	法令遵守の理解		
		バーベキュー		
	6月	外出・ねぎ焼き		
	7月			
		七夕会(ビンゴ大会)		
	8月			
		盆供養・かき氷・花火大会		
	9月	不適切なケアと虐待 身体拘束を行ってはいけない理由		
		敬老祝賀会・彼岸供養(おはぎ)		
	10月			
秋祭り会				
11月	感染症対策			
	秋のお食事会(さんま・豚汁)			
12月	年忘れ会			
1月				
	新年会・焼き芋			
2月				
	節分会			
3月	不適切ケアを考える 身体拘束防止の具体策			
	ひな祭り会・彼岸供養(ぼた餅)			

(総評)  
 利用者の総数を月平均76名を目標に運営を実施してきましたが、入所依頼の数より入院・永眠される方が多く平均72.3名の利用となりました。先手先手で各支援センターや行政にアクションをかけて行くべきでした。  
 行事について入所者の強い要望にて、5月にバーベキューを実施しました。コロナの外出規制もあって、入所者の方は大変喜ばれ、満足して頂きました。その他の行事(秋祭り、年忘れ会等)においても、職員が趣向を凝らし、楽しんでいただきました。夏には計画予定していませんでしたが、施設に古い花火があったので、花火大会を企画・実施し、夏の雰囲気味わっていただきました。外出については、外出規制の合間に、買い物ツアーと渋川水族館のどちらかを選択して頂き、気分転換を図りました。  
 内部研修については身体拘束、法令遵守、感染症等、フォローアップ研修ネット配信を活用しながら、勉強会を行い成果が見られた。